

# 海洋汚染から考える 家庭ごみを減らすためにできることは

28 班 島田音 西部依音 林桜花 鍛冶澤遥



## 1 課題設定の理由

富山湾や私たちの身近な川にゴミが多く、きれいにしたいと思ったから。また海洋汚染が原因で死んでしまう魚が多いことを知り現状を改善したいと思ったから。ゴミが多いことで知られている六渡寺海岸を訪れたことにより、海岸のゴミを減らすには、私たちが出している家庭ゴミを減らすことが重要だと思ったから。

## 2 仮説

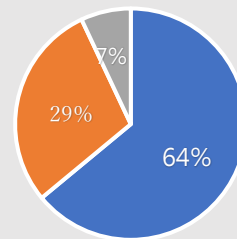
- ・川から海に流れ漂着した家庭ごみが海洋汚染の原因と考えた
- ・家庭ごみのポイ捨ての防止、そもそもの家庭ごみの量を減らす
- ・過剰包装の防止やごみ箱の設置が有効なのではないかと考えた

## 3 調査

実際に富山県で一番汚いと言われる六渡寺海岸に行き現状を知る、地元の人から話を聞く



100㎡あたりの人工漂着物の内訳



■プラスチック ■発砲スチロール ■その他

富山県・(公財)環日本海環境協力センター

「海辺の漂着物調査報告書 2015 年度」

## 4 調査から

ヨーグルト  
個包装のものではなく大きなサイズのもの  
を購入する  
肥料  
プラスチックではなく硫黄を使った肥料を  
販売または購入する

## 5 考察、まとめ

- ・浜辺に漂着したゴミが海に流れ生物による生体濃縮によって人間にまで被害が及ぶ
- ・家庭ゴミを減らすためには企業の取り組みと個人の取り組みが必要
- ・プラスチックに依存しない生活様式が必要